

作成日 2009年09月29日  
改訂日 2012年04月02日

## 製品安全データシート

## 1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	RIPA Buffer (10X)
製品コード	9806
整理番号	S004
会社名	CSTジャパン株式会社
住所	東京都千代田区内神田1-6-10
電話番号	03-3295-1630
FAX番号	03-3295-1633
推奨用途及び使用上の制限	ライフサイエンス研究用試薬

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

物理的・化学的危険性	引火性液体 区分外 自然発火性液体 区分外 水反応可燃性化学品 区分外 酸化性液体 区分外
健康に対する有害性	急性毒性(経口) 区分外 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分2A
環境に対する有害性	水生環境急性有害性 区分2 水生環境慢性有害性 区分2 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素  
シンボル注意喚起語  
危険有害性情報

警告  
強い眼刺激  
水生生物に毒性  
長期的影響により水生生物に毒性

注意書き  
安全対策

保護眼鏡、保護面を着用すること。  
取扱い後はよく目を洗うこと。  
環境への放出を避けること。

## 救急措置

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。  
漏出物は回収すること。

保管  
廃棄

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

## 3. 組成、成分情報

## 単一製品・混合物の区別

## 混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル	10.00%	C8H17C6H4(OCH2CH2)nOH	(7)-172		9036-19-5

分類に寄与する不純物及び安定化添加物

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)

改正前(2009年9月30日まで)		改正後(2009年10月1日から)	
第1種指定化学物質 (法第2条第2項、施行令第1条別表第1)	ポリ(オキシエチレン)＝オクチルフェニルエーテル(政令番号:308) (10.00%)	第1種指定化学物質 (法第2条第2項、施行令第1条別表第1)	ポリ(オキシエチレン)＝オクチルフェニルエーテル(政令番号:408) (10.00%)

## 4. 応急措置

吸入した場合

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

眼に入った場合

水と石鹼で洗うこと。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。

口をすすぐこと。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

## 5. 火災時の措置

消火剤

周辺火災に種類に応じて適切な消火剤を用いる。

特有の危険有害性

この製品自体は、燃焼しない。

加熱により容器が爆発するおそれがある。

火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法

周辺火災の場合、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。

火災の種類に応じて適切な消火剤を用いる。

消火を行う者の保護

消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火作業の際は、空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

関係者以外の立入りを禁止する。

環境に対する注意事項  
 回収、中和  
 封じ込め及び浄化の方法・機材  
 二次災害の防止策

作業者は適切な保護具(8. ばく露防止措置及び保護措置の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。  
 風上に留まる。  
 低地から離れる。  
 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。  
 環境中に放出してはならない。  
 少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。後で廃棄処理する。  
 危険でなければ漏れを止める。  
 少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で覆い更にプラスチックシートで飛散を防止し、雨に濡らさない。  
 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
	局所排気・全体換気	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
保管	安全取扱い注意事項	眼に入れないこと。 ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。 飲み込みを避けること。 取扱い後はよく手を洗うこと。 皮膚との接触を避けること。 環境への放出を避けること。
	接触回避	『10. 安定性及び反応性』を参照。
	技術的対策	保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
	混触危険物質	『10. 安定性及び反応性』を参照。
	保管条件 容器包装材料	酸化剤から離して保管する。 包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
		日本産衛学会(2008年版)	ACGIH(2009年版)
ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル	未設定	未設定	未設定

設備対策		本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 空気中の濃度を制御するには、一般適正換気で十分である。
保護具	呼吸器の保護具	換気が不十分な場合には、適当な呼吸器保護具を着用すること。
	手の保護具	適当な手袋を着用すること。
	眼の保護具	眼の保護具を着用すること。 保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)
衛生対策	皮膚及び身体の保護具	顔面用の保護具を着用すること。
		取扱い後はよく手を洗うこと。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	形状 色 臭い pH	液体 無色 無臭 データなし -5°C データなし 不燃性 不燃性 データなし 20.8 1.039 (20°C) 水、エタノール、アセトンに可溶 データなし 不燃性 データなし データなし 該当しない データなし
融点・凝固点		
沸点、初留点及び沸騰範囲		
引火点		
燃焼性又は爆発範囲		
蒸気圧		
蒸気密度(空気=1)		
比重(密度)		
溶解度		
オクタノール／水分配係数		
自然発火温度		
分解温度		
蒸発速度(酢酸ブチル=1)		
燃焼性(固体、ガス)		
粘度		

## 10. 安定性及び反応性

安定性	通常の保管および取扱いの条件においては安定である。
危険有害反応可能性	知見なし
避けるべき条件	知見なし
混触危険物質	知見なし
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、二酸化炭素を含む毒性のヒュームを発生する。

## 11. 有害性情報

急性毒性	経口	成分の急性毒性推定値は、ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル 1700mg/kg、デオキシコール酸ナトリウム 1370mg/kg、ピロリン酸ナトリウム 1000mg/kg、バナジン酸ナトリウム 320mg/kg塩化ナトリウム 3000mg/kg水 99999mg/kg(仮定値)であり、混合物の急性毒性推定値が4789.1mg/kgのため区分外とした。
皮膚腐食性／刺激性	経皮	データがなく分類できない
眼に対する重篤な損傷／刺激性	吸入(蒸気)	データ不足のため分類できないとした。
	吸入(ミスト)	データがなく分類できない
		データ不足のため分類できないとした。
		ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル、ピロリン酸ナトリウムが区分2Aであり、区分2Aの成分濃度の合計が濃度限界(10%)以上のため区分2Aとした。
呼吸器感作性		データがなく分類できない
皮膚感作性		データがなく分類できない
生殖細胞変異原性		データがなく分類できない
発がん性		データがなく分類できない
生殖毒性		データがなく分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		データ不足のため分類できないとした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		データがなく分類できない
吸引性呼吸器有害性		データがなく分類できない

## 12. 環境影響情報

水生環境急性有害性

ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテルが区分1、区分1の成分濃度×毒性乗率×10の濃度合計が濃度限界(25%)以上のため区分2とした。

水生環境慢性有害性

ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテルが区分1、区分1の成分濃度×毒性乗率×10の濃度合計が濃度限界(25%)以上のため区分2とした。

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。

本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄することは避ける。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

## 14. 輸送上の注意

国際規則

海上規制情報

非危険物

国内規制

航空規制情報

非危険物

陸上規制

非該当

海上規制情報

非危険物

航空規制情報

非危険物

特別の安全対策

輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れを生じないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

重量物を上積みしない。

緊急時応急措置指針番号

## 15. 適用法令

化審法

第3種監視化学物質(法第2条第6項)( $\alpha$  - [(1, 1, 3, 3, -テトラメチルブチル)フェニル] -  $\omega$  - ヒドロキシポリ(オキシエチレン)(別名ポリ(オキシエチレン) = オクチルフェニルエーテル))

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)(ポリ(オキシエチレン) = オクチルフェニルエーテル)

## 16. その他の情報

連絡先

CSTジャパン株式会社

参考文献

NITE GHS分類公表データ

EU CLP Regulation, AnnexVI

CHEMWATCH社 GHS-MSDS

RTECS(2008)

Cell Signaling Technology 製品MSDS

記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではございませんので、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。